

《養成講座の内容》

◎養成講座は、グループ研修と講義で構成されています。

◎グループ研修は土曜日の午前または午後の2時間～2時間半の予定です。時間帯は応募状況により決定します。講義は原則として月1回、土曜日の午前または午後の2時間で実施します。

—2022年度の実施例—

1年目『電話相談の基礎を学ぶ』

第1課程

6月～9月

- グループ研修（月2回程度）
『心の動きに目を向けるワーク』
- 講義
 - ・「『いのちの電話』の基本理念～ビフレンディングということ」
永原伸彦（茨城カウンセリングセンター）
 - ・「養成講座の学び方」
寺川亜弥子（臨床心理士）
 - ・「いのちの電話とボランティア—相談員になるということ—」
杉江 征（筑波大学）
茨城いのちの電話研修スタッフ

第2課程

10月～1月

- グループ研修（月2回程度）
『聴き方のトレーニング』
- 講義
 - ・「精神障害」
堀 孝文
（県立こころの医療センター）
 - ・「家族」
三輪壽二（茨城大学）
 - ・「思春期」
守屋英子（臨床心理士）
- 宿泊研修（2泊3日・必修）
『互いを知り深める研修』※

第3課程

2月～5月

- グループ研修（月2回程度）
『電話相談の対応について学ぶ』
- 講義
 - ・「危機介入」
大滝 優（筑波大学）
 - ・「働く人のメンタルヘルス」
沼田世里（茨城大学）
 - ・「聴くということ」
杉江 征（筑波大学）
- 進級式

2年目『電話相談の実際を学ぶ』

第4課程

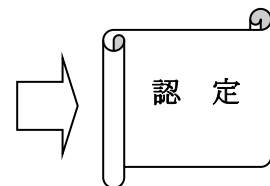
6月～10月

- 電話担当実習（月1～2回）
- グループ研修（月1回）
- 講義
 - ・「精神障害者への理解と対応」
大久保文代（地域活動支援センター）
 - ・「性に関わる電話への理解と対応」
茨城いのちの電話研修スタッフ

第5課程

11月～3月

- 電話担当実習（月2回）
- グループ研修（月1回）
- 講義
 - ・「いのちの電話の理念と役割」
茨城いのちの電話研修スタッフ



※宿泊研修は必修です。ただし、状況により内容を変更する場合があります。

認定について

出席状況や学習状況によっては、次の課程に進めないことがあります。認定の判断は、第5課程終了後、総合的に評価して行われます。

《2022年度の研修にご協力いただいた方々》

池田 名緒子	(恵和社会復帰センター)	高岡 美記	(みとカウンセリングルームどんぐり)
大久保 文代	(地域活動支援センター)	寺川 亜弥子	(臨床心理士)
大滝 優	(筑波大学)	永原 伸彦	(茨城カウンセリングセンター)
小原 昌之	(茨城カウンセリングセンター)	沼田 世里	(茨城大学)
北川 恭子	(カウンセラー)	人見 健太郎	(みとカウンセリングルームどんぐり)
齋藤 環	(筑波大学)	堀 孝文	(県立こころの医療センター)
佐藤 康江	(臨床心理士)	松田 瑞穂	(株式会社日立製作所 日立総合病院)
島菌 進	(東京大学名誉教授)	松野 好子	(臨床心理士)
正保 春彦	(茨城大学)	三輪 壽二	(茨城大学)
杉江 征	(筑波大学)	森本 純代	(臨床心理士)
杉山 雅宏	(東京家政大学)	守屋 英子	(臨床心理士)

(五十音順・敬称略)